

2009

平成21年

1.25

発行責任者

柳澤 讓

昭和48年初版

第67号

46自治会
8,650世帯

題字揮毫 篠田昭新潟市長

六道



大観光交流年 新潟を活性化

新潟市長 篠田 昭

坂井輪の皆さん、新年明けましておめでとございます。

皆さんとつくり上げた政令指定都市に移行して一年九ヶ月、この間、まちづくりや活性化、教育・人づくりなどの分野で「政令市効果」を感じていただけるよう、職員とスクラムを組んで努めてまいりました。その甲斐があったのか、

先月発表された日経新聞の行政改革度調査では新潟市の改革度は全国八〇六市区の中で総合評価「第四位」にランクされました。二年前の前回調査の三十四位からかなりの前進です。

特にうれしかったのが利便度分野です。政令市になる前の前は二九〇位でしたが、今回は十二位に躍進できました。区役所効果といっても良

いと思います。もつとも西区役所は庁舎も分かれ、不便をお掛けしています。先日公表した区役所整備計画では優先度二位となっていますので、整備を急ぎます。

今年は「大観光交流年」。大河ドラマ「天地人」を活かすとともに、「水と土」をテーマにした芸術祭に七月から半年間取り組みます。新潟市に大勢の方から来てもらい、新潟の食や暮らしたの豊かさを存分に味わっていきま

昨年「雇用創出・拠点化推進本部」を設置。活性化に取り組み、多くの成果を挙げる事ができました。G8の労働大臣会合も皆さまのご協力で成功しました。昨秋からの世界金融危機に対しても、いち早く緊急経済対策を実施し、十二月市議会には二十三億円の補正予算を議決いただきました。世界が厳しいときだけにまず、新潟の域内経済をしっか

りしましたが、事故もなく盛会の裡に終わることのできたことを喜んでおります。なお、今年も継続実施の予定で、その際も多数のご参加をお願いしたいと存じます。



年頭の挨拶

坂井輪中学校区コミュニティ協議会 会長 柳澤 讓

明けましておめでとございます。皆さんお元気で新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

坂井輪中学校区コミュニティ協議会（以下「コミ協」）では、先般新潟市の政令市移行に対応する組織改正を行い、各単位自治会が直接コミ協に加入して新たに連合自治部となり、コミ協の一部門としての立場で地域活動を行っていくことになりました。

しかしながら、活動の中心は今までと変わるところがありませんので、皆さんのご理解と、いっそうのご協力をお願いいたします。

●「プレイパーク」のこと
さて、昨年コミ協が実施した事業中感銘を受けたもののひとつに、八月三十日「子どもぼうけん遊び場・坂井輪プレイパーク」があります。この催しには地域の大人・子ども合わせて四七七名が参加し、坂井東小学校グラウンドの会

場内に特設した
・ぼうけんやぐら（滑り台）
・段ボール工作と木片工作コーナー
・面白自転車コーナー
・水と遊ぶプール
の四種目の遊び場で、流しソームンの昼食を挟んで夏の半日を楽しみました。
特に、「木片工作」に参加した子どもたちは、扱いはない材料・道具と苦闘しながら、五時間の所定時間内には完成できないほどの作品づくりに取り組んでいました。そのほかのコーナーでも、子どもたちは水を得た魚さながらに、いきいきと動き回ってくれました。

初めてこの事業に、主催する側として一抹の不安もありました。今年もよろしくお願います。

（位置図・写真を四面に掲載）

努力の軌跡

自治会だより

坂井輪連合自治会を構成する46の自治会では、会長・役員が中心となって、それぞれに自治会内の安心、安全で快適な生活の維持・向上や、会員同士の親睦増進に心を砕いておられます。

「エネルギー交換」と「腹七分目」／寺尾新町東和自治会

当自治会では、会員の融和と親睦を図るため、恒例行事として町内日帰り旅行や新年交歓会を行っております。平成二十年度は、九月二日村杉温泉長生館への日帰り旅行を実施。今回は旅館に三和福祉ボランティアの小林妙経先生をお迎えして「私は一〇八歳まで生きたい」と題する講演会（写真）を開催しました。お話しは、「健康こそ人生最大の財産。健康管理の方法として①社交ダンスで、手と手をなくことによりお互いにエネルギー交換が行われ、電流が発生し活力がわいてくること②高齢者は過食を避け腹七分目を心がけることが大切」といった内容がとても印象的で、参加者から好評を博しました。講演会の後は、お楽しみ懇親会で、東和自治会専属マジシャンの演技や、歌手顔負けのカラオケ大会など、楽しい一日を過ごしました。これを契機に、明るく、朗らかに一〇八歳を迎えたいものです。

（会長 風間 信雄）



環境美化活動の中核としての「ボランティアの会」／西坂井団地自治会

当自治会の「ボランティアの会」について紹介します。自治会活動の原点は、会員相互の交流と親睦を図りながら、「安心で安全」な地域づくりをすることにあります。しかし当自治会役員は持ち回り制で、役員だけではやりきれない点が多々あることから、平成十六年に当時の会長さんのご尽力で

- 時間に余裕ある
- 健康である
- 趣味・知識・経験が生かせる

こと等を参考に二十人程度を募り「ボランティアの会」を発足させていただきました。公園の草刈り、低木の下枝切り、会館の清掃をはじめ、それまではゴミ捨て場同然であった団地東側の、市道平島Ⅱ大野線（通称西川土手道路）法線の除草を行い、花木の植栽、手入れを継続し、今では立派な花壇になりました。一昨年から、西川桜並木脇左岸の除草を行い、昨年には菜の花の苗を植え、今年の春は「菜の花畑」に、その後秋にはコスモス畑にしようとして、楽しみにしています。



親睦会・日帰り旅行／青葉台自治会

青葉台自治会では、今年も恒例の親睦会を兼ねて日帰り旅行を開催しました。行き先は、湯量豊富な温泉一〇〇%かけ流し、料理の旨い村杉温泉・長生館にマイクロバスで向かいました。到着後それぞれ温泉につかり夏の疲れがとれたところで親睦会に移り、一時間は席を立たずね、旨い料理をしっかりと食べ、隣どうしお酒をつぎあい親睦を深めました。たくさんの景品を用意して、全員参加のビンゴゲーム、お楽しみ抽選会を通じてご近所どうしの和やかなふれあいをしながら、良い親睦会ができました。当日は好天に恵まれて暖かく、長生館の広大な庭の、紅葉の色付きがとてもきれいで絶好の旅行日和でした。帰りのマイクロバスでは、「来年も行きたいのでは是非計画を」との要望などを話し合いながら一路町内へ。



風通しの良い 明るい自治会活動を／寺尾村上自治会

当自治会は、昭和三十六年三月に発足したJR寺尾駅南側に隣接する自治会である。今年度の自治会活動を行うにあたり、目標を「風通しの良い明るい自治会活動」に置き、如何に会員相互の意思疎通を図っていくか、また、活動への参加率を上げるにはどうしたら良いか？等々について意見交換を行った。その結果、例年実施している校外補習部の行事には全員が参加すること、町内の一斉清掃活動を実施することとし、さらに今回は「小旅行」として「阿賀野川ライン下り」を行うことにした。小旅行では、大自然の中で船頭さんの歌声と巧みな技術を堪能し、昼食をともにしながら楽しいひとときを過ごし、互いに意思の疎通をも確かめることができたが、このような行事には参加率を増やすことが今後の課題となった。また、全員参加の町内清掃活動等は、連帯運動として欠かさずこのできない行事であり、今後やり方に改善を重ねて参加者の輪を広げ、地域全体が成果を分かち合える自治会になればと思う。



わが自治会の「秋祭り前夜祭」／新田自治会

わたしたちの新田自治会では、毎年神社の秋祭りの前日に前夜祭、「夜店」を開催します。



昨年も九月十三日に、心配していた天候にも恵まれ開催することができました。

内容は焼きそば、カキ氷、綿菓子、玉コンニャク、輪投げ、水ヨーヨー等々の出店です。

当日は朝早くから、会場の準備をする人、買い出しに行く人、玉コンニャクの下ごしらえをしてくれるお母さん方等、多くの方々が手伝って下さいます。午後五時よりの開催ですが、時間前に多くの参加者が来てくださいます。

わずか三十一世帯の小さい自治会ですが、この日ばかりは他町に嫁いだ方、同級生親戚、近郊の方々も集まり、神社の境内が溢れんばかりの賑わいです。何年ぶりかです。人ももてたいへん盛りあがります。

有事に備え、真剣な取り組み

―自主防災訓練―

名簿」登録者に対する避難支援を取り入れたところもありました。

◆合同訓練

合同訓練は、個別訓練を終えた自治会と直接合同訓練に参加する自治会併せて三十三組織が坂井輪中学校グラウンドに集まって、定刻午前十時に開始。

全員の訓練に先立ち、ジュニアレスキュー隊のメンバーが応急手当・搬送法を、新潟市消防団坂井輪分団の皆さんがポンプ操法の演習を披露しました。

次いで、参加者全員が四グループに分かれ、

- 救出・救護
- 心肺蘇生・AED使用
- 応急手当
- 初期消火

また、これと並行して希望者による非常食の炊き出し訓練も行い、参加者に試食してもらいました。

◆「有事への備え」実行を
國の内外で大きい自然災害が忘れる暇もなく頻発しています。安全・安心な暮らしを守るために、普段における有事への備えの大切さを改めて考え、そして実行したいものです。

また、昨年民生委員さんの協力で大幅に増えた「災害時要援護者



平成二十年度の坂井輪中学校区コミュニティ協議会の自主防災訓練は、十月二十六日、「強い地震が発生した」との想定で、各自治会と坂井輪連合自主防災会が中心となって実施されました。

当日は、生憎くの雨もよいのお天気で、しかも小学校の行事とぶつかり、訓練への参加が少ないのでは？と案じられましたが、個別訓練に約六〇〇人、合同訓練にも五五〇人の方々が参加されました。

◆個別訓練

個別訓練は各自治会で。主として災害発生直後の安全確保や緊急避難場所への避難誘導訓練が行われました。

また、昨年民生委員さんの協力で大幅に増えた「災害時要援護者

安心・安全なまちづくりめざして 悪質商法、新型インフルエンザ対策を学ぶ



が「民生委員活動所感」と題して長年民生委員として活躍された体験を発表されました。

次いで、新田地区の高橋正巳さんからお住まいの地域で経験された「催眠商法」について、その実態を調査された際の苦心談、またかからないための心得について報告がありました。

☆悪質商法

新潟市消費生活センター 頓所所長さんを講師に、市に寄せられた消費生活に関する相談の内容、悪質商法の手口や、防止法などについて具体例を挙げて講義をいただきました。

☆新型インフルエンザ

最近マスコミにしばしば取り上げられている、鳥インフルエンザウイルスが人間に感染する性質を持つようになった場合の問題について、新潟市保健所の竹内所長さんを講師に迎え、医療の専門家の立場から、危険の度合、感染予防の方法など、懇切なご指導をいただきました。

☆事例報告

最初に坂井東地区の民生委員高橋恵久子さん

が「民生委員活動所感」と題して長年民生委員として活躍された体験を発表されました。

南北幹線道路で交通施設整備

国道一六号亀貝インターから西大通り(元のR一六号)に至る道路で、このほど交通円滑化のための施設整備が相次いで行われました。



◆矢印信号の設置

西大通りと市道寺尾線の交わる寺尾西交差点の信号に、兼ねて地元が要望していた「右折矢印」が付きました。また同時に、坂井輪公民館前交差点の信号には、従来の東西道路からの右折信号に加え、南北道路からの右折が設けられました。



◆歩道傾斜の改善

坂井輪中学校グラウンド東北隅の歩行者用「押しボタン式信号機」では、ボタン取り付け柱と、横断歩道の間にあつたきつい傾斜が取り除かれ、車椅子歩行の方も、乗ったまままでボタンに手が届くようになりました。



○亀貝自治会
石渡勝春前会長
10年勤続



○寺尾新町第1自治会
前田信一会長
20年勤続

おめでとうございます 永年勤続市長表彰

おふたかたの永年にわたるご功績とご労苦に心からの敬意を表するとともに、今後いっそうのご活躍をお祈りいたします。

交通安全自転車競技大会

交通安全協会(寺尾)

坂井輪中学校区コミュニティ協議会交通安全部では、新潟交通安全協会寺尾中央支部との共催で、十月十一日坂井輪中学校体育館を会場に、恒例の自転車競技大会を実施しました。

この催しは、主として児童を対象に、自転車の正しい乗り方、交通ルール、運転技術



などを学んで事故防止に役立ててもらおうと、平成四年から毎年実施しているもので、今年で十七回目を迎えました。当日、小学校児童三十六名の参加者は、新潟西警察署交通課の佐藤指導係長さん・寺尾交番の長谷川所長さんから指導を受けた後、「安全走行・回転操縦」などで技を競いました。

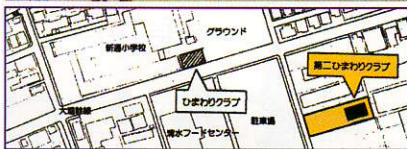
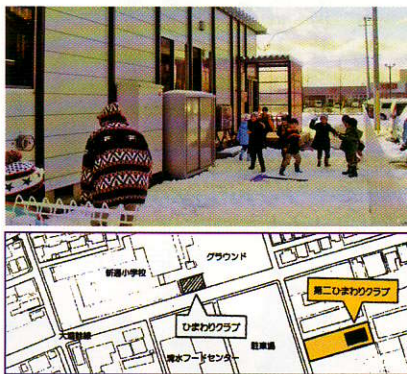


要援護者の「避難支援」を主眼に
「輪之内自治会の防災訓練」

午前8時50分から始まった自治会の防災訓練は、要援護者の「救援」を主眼に、自治会保有の「組み立て式リヤカー」を使った避難訓練が行われた。本物の災害時には、市登録の「要援護者」を乗せることになるが、この日は訓練のため「リヤカーに乗るモデル役」を募り、リレー方式で指定避難所になっている公園まで運んだ。

新通第一ひまわりクラブ

第一面「坂井輪中学校区コミュニティ協議会長挨拶」で紹介されているとおり、新通小学校での児童数の増加に伴い、ひまわりクラブの利用希望者も増加し、平成十八年春



学校敷地内に新築された既設のクラブでは対応できなくなったため、坂井東六丁目地内に第二クラブを設け、十二月から使用されております。(設置位置図参照)

ここに通う五十人あまりの児童たちは、小学校の放課後家に帰るまでの時間を。四人の先生に見守られながら、仲良く勉強や運動で過ごしていきます。

久しぶりに雪の積もった一月十三日の午後、新しい園舎の前で、児童たちは喜々として雪投げに興じていました。

あとがき

◆前号で報告したように、連合自治会と各自治会は坂井輪中学校区コミュニティ協議会の「連合自治部」として活動していくことになったため、この「大道」も「コミュニティ連合自治部広報紙」へと変わりました。

◆組織の呼び方が変わっても、地域活動に果たす連合の役割が変わることなく継承されていくことを願って、これからも名称をそのまま「大道」に、号数も連合発足時からの通算で数えていくことになりました。

◆大不況に明けた〇九年が早く元氣を取り戻し、皆様にとって良い年となりますよう祈りながら、第六七号をお届けします。